

民間の経験を伝えたい

インターネットによる近未来は目測がついている。世の中のあらゆるモノがネ

県立大学の挑戦

「新任教員」紹介②

PR

ットでつながり、電子情報に置き換わっていく。「情報セキュリティ」が一段と重

情報システム学部 情報セキュリティ学科



プロフィール

横浜国立大大学院工学研究科博士課程後期修了。パナソニック先端研究本部知能研究所主幹研究員などを歴任。担当科目は「暗号技術」。大阪府箕面市出身。

まつざき 松崎 なつめ 教授 (56)

みを増す社会だ。政府もその強化に乗り出している。

「情報の保護には暗号技術が使われ、身の回りの生活を守っています。学生に必要なをきちんと伝えていきたい」。情報セキュリティ学科は、現在不足している高度な専門人材を育成する国内初の学科。民間出身者として、教壇に立つ。

電機大手パナソニックの研究開発部門に34年間在籍。1990年代後半のアナログからデジタルへの転換期、米ハリウッドの映画

会社やDVDメーカーなどと、コンテンツ保護の暗号化に初めて取り組んだ。テレビのデジタル放送視聴に不可欠な「BCASカード」の暗号方式の開発にも関わった。

ネット上での情報倫理の徹底、保護と活用のバランス。「これまでの経験を学生につないでいきたい。長崎の地でグローバルに発信できる教育拠点を真っ直ぐに築いていきたい」

【随時掲載】

7月17日(日)・18日(月祝)
オープンキャンパス

0956
(47)
5856